

## 【I コリント人への手紙 16章】

「目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。  
男らしく、強くありなさい。  
いっさいのことを愛をもって行いなさい。」  
(I コリント16:13、14)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.4.8 No.678

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

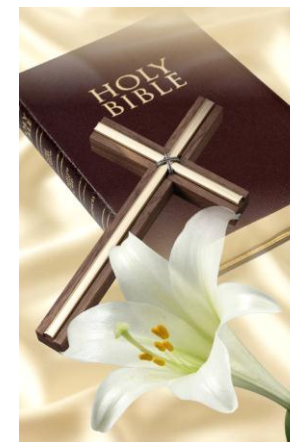
**我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。**

パウロの手紙は、牧会者らしい心ずかいで締めくくられています。始めに、エルサレム教会への献金について書かれています。(ローマ15:26)エルサレムの貧しい聖徒を助けることは、パウロの大切な働きでした。献金は、日曜日ごとに、収入に応じて、蓄えておいて捧げるようにとのお勧めです。献金は信仰の表れですから、祈って心を込めて準備しておきましょう。ある人は職場を通して、その他色々な収入源がありますが、全ては神様から頂いたという信仰を持って捧げる事が祝福です。

9節、パウロはエペソに働きの為に広い門が開かれていました。パウロの信仰と賜物が大きく用いられたのです。しかし、反対者も大勢いるからだと書かれています。みわざの起こる所に、必ず反対する力が働きます。マーリン・キャロザーズ師が感謝と賛美を捧げることによって、これからの時代を乗り越えられると言っておられました。カリスマ聖会では、御心と確信した日本の孤児院のため、リバイバルの為に、からし種の信仰に立って、既に受けたと信じ、喜びの叫び声を上げ、賛美の声を上げ、席上献金全額が孤児院に捧げられました。ハレルヤ！試みもあるでしょうが、勝利をもたらす信仰です。

パウロと共に主のみわざに励んでいる若いテモテ(I テモテ4:12)を助けるようにと、同労者に対して心ずかいをしています。また、アポロのことも記しています。彼は有能な説教者で、コリントの教会で非常に評価されていました(I コリント1:12)が、パウロよりもアポロを慕う人が多かったのですが、分裂を避ける為に、あえて教会には行かないという、わかまへのあつた人物のようです。アクラとプリスキラは、パウロと同じようにテント作りをしていました(使徒18:3)が、パウロが行く所、どこにでもついて行って(使徒18:18)パウロの働きを助け、コリント、エペソの教会形成に貢献しました。

パウロの書簡の中心は、13、14節です。パウロは多くの人に支えられ、助けられて神の働きをしていました。彼自身も、その人たちに心を配り、愛をもって接し、主を愛さないものには、厳しく悔い改めを導き、恵みと愛を願って手紙を書いています。



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)  
The Lord's Cross Christian Center  
<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。